

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年11月28日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	白鳥建設工業 株式会社
所在地	〒077-0002 北海道留萌市塩見町332番地の10
代表者役職・氏名	代表取締役社長 堀松 誠
担当者連絡先	電話：0164-43-5511 (担当 本間) メール：honma@siratori-kk.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.siratori-kk.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和2年創業、昭和39年株式会社設立、以来地域に根ざし自社保有の作業船を活用して港湾、漁港に関わる海洋土木工事、浚渫、漁礁設置工事を担ってきた総合建設業者であります。</p> <p>弊社は『人にやさしい海づくり』という経営理念のもと、社会から信頼される企業を目指すとともに、継続可能な社会の実現に向けたSDGsの取組に貢献してまいります。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	自然エネルギーの活用、低燃費型施工機械・低燃費型自動車導入、使用電力削減によるCO2削減への取組	【現状】100% 【目標】20%削減
□環境 ✓社会 ✓経済	ICTの活用等により、業務の効率化、合理化、生産性向上を図り、職員の能力が発揮できる職場環境の創出を目指し、時間外労働を短縮する。	月平均時間外労働 【現状】45時間 【目標】30時間 (約33%削減)
✓環境 □社会 □経済	地域、社会貢献に繋がる活動強化のため、地域の海岸清掃活動を積極的に取組む。	海岸清掃活動回数 【現状】年1回 【目標】年3回

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・「北海道働き方改革推進企業認定制度」取得 ・ハラスメント防止規定周知文の公開					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・「北海道働き方改革推進企業認定制度」取得									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4						8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・店社安全パトロールの実施(1回/月) ・安全衛生委員会の実施(1回/月) ・ISO45001を認証取得している			3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・厚労省準拠の「ストレスチェック」(外部委託)においてメンタルヘルスを実施している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・北海道なでしこ応援企業認定					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・各種免許取得費用並びに免許更新費用の全額会社負担			4	5.5					8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5					8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・全社員の健康診断(1回/年)の実施 ・潜水土の特殊健康診断(2回/年)の実施			3						8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・各現場のゴミの分別の徹底とリサイクルの推進 ・コピー用紙の両面使用 ・紙データ管理から電子データ管理へ移行											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている									7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・会社の蛍光灯を通常タイプからLED蛍光灯へ移行									7.2 7.3				12.4	13.3			
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3						11.6	12.4				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・低騒音型機械を使用し周辺環境に配慮している。 ・海の工事では汚濁防止フェンスを使用し汚濁流出に努めている。						6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001を認証取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・自社ホームページで取組みを紹介している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ソーラパネル型現場事務所を使用している。							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO9001を認証取得している			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001を認証取得している									9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ISO14001を認証取得している。						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・国、地方公共団体との防災協定締結 ・インターンシップの受け入れ				4						9	11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地元海岸クリーンアップ作戦への毎年参加 ・交通安全街頭啓発活動への参加				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・地産地消を積極的に行っている。									8	9	11	12	13				

(様式第4号)

令和6年1月10日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 北海道留萌市塩見町332番地の10
名称： 白鳥建設工業 株式会社
代表者： 代表取締役社長 堀松 誠
登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	自然エネルギーの活用、低燃費型施工機械・低燃費型自動車導入、使用電力削減によるCo2削減への取組	【現状】100% 【目標】20%削減	【目標】20%削減 に対して現状4%削減
□環境 ✓社会 ✓経済	ICTの活用等により、業務の効率化、合理化、生産性向上を図り、職員の能力が発揮できる職場環境の創出を目指し、時間外労働を短縮する。	月平均時間外労働 【現状】45時間 【目標】30時間(約33%削減)	【目標】30時間 対して現状38時間(15%削減)
✓環境 □社会 □経済	地域、社会貢献に繋がる活動強化のため、地元の海岸清掃活動を積極的に取組む。	海岸清掃活動回数 【現状】年1回 【目標】年3回	【目標】年3回 に対して年2回清掃活動を実施